



第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

WS-02「世界の家庭医の診療を通して自分の診療を振り返ろう～COVID19 診療を通じて日本の医療を考える～」

【講師】

角田 秀樹（滋賀医科大学 総合診療部）
廣岡 伸隆（埼玉医科大学 総合診療内科）
朝倉健太郎（社会医療法人健生会 大福診療所）
小林 直子（富山市まちなか診療所）
佐々江龍一郎（NTT 東日本関東病院 総合診療科）
吉田 伸（潁田病院 総合診療科）
八百 壮大（JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院 総合診療科）
加藤 大祐（三重大学大学院医学系研究科 家庭医療学分野）
原田 直樹（津ファミリークリニック/三重大学総合診療ネットワーク）
安藤 崇之（慶應義塾大学医学部 総合診療教育センター）
坂井 雄貴（ほっちのロッヂの診療所）
松本 朋樹（熊本大学 地域医療・総合診療実践学寄附講座）
向原 千夏（滋賀家庭医療学センター）

若手家庭医のみなさん、海外の医療に目を向けてみませんか？国際委員会と若手医師部門国際交流チームによるワークショップ(WS)です。例年は交換留学に関連したWSを行っていましたが、2020年度以降はCOVID19の流行のため留学企画の先行きが不透明です。しかし、数々の困難が待ち構える今こそ、国の枠を超えて情報を共有し、海外の状況を知ることによって日本を客観視し、家庭医としてどのように社会に貢献できるのか考えていくことが重要です。今年度は海外の家庭医(米国と英国+αを考えています！)から、各国で「家庭医がCOVID19診療でどのような役割を担っているか」簡単な情報共有を行った後、COVID19診療に伴う様々なテーマについて、グループに分かれて議論します。英語については適宜スタッフがサポートします。国際交流に興味のあるあなた、このWSをきっかけに我々と最初の一步を踏み出しましょう！